

医療施設拡充事業



本事業により導入された滅菌器（釜山白病院）

[借款概要]

承諾額/実行額	7,000百万円 / 6,833百万円
借款契約調印	1978年12月
借款契約条件	金利3.5%、返済20年（据置7年）
貸付完了	1984年12月

[事業概要]

増大する医療サービス需要に対処するため、不足している医療施設を拡充するとともに老朽化した施設の近代化を図るもの。

[評価結果]

本事業では、韓国政府が策定した医療施設拡張長期総合計画（1980～2000年）の一環として、工業団地病院10カ所、医療脆弱地域の病院11カ所及び市・道立病院27カ所の新設・増改築を行ない、各病院において医療機材772種、約1万9千点の調達を行った。

各病院は1981年から83年にかけて開院し、対象病院の病床数は1984年において約4,800床であり、全国の7%以上、また、入院患者数は6.5%、外来患者数は9%余りを占めた。

その後、既に20年近く経過しているため、医療機器については、包括的なデータを確認することは困難であるが、本評価にて訪問した病院のうち釜山白病院では、66種の医療機器のうち12種、また、仁川吉病院では乳房X線撮影機器が現在も使用されている。

韓国の病院の入院・外来患者数、受診率、医師数等は1980年代以降年々増加し、医療サービスは急速に改善されてきたが、本事業はそのような医療環境の整備の初期段階において重要な役割を担ったものと見られる。